



LRT都市サミット札幌2019 サミット宣言

わが国では、高度経済成長期以降、自動車への過度な依存により、公共交通利用者の減少が続いてきました。今後、本格的な人口減少社会を迎え、公共交通利用者のさらなる減少が想定される一方、高齢者や訪日外国人旅行客の増加など、路面電車をはじめとする公共交通機関への期待は高まっている状況にあります。さらに、公共交通を軸とした環境への負荷が少なく、地域の活性化に資するまちづくりを進めることにより、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に寄与できるものと期待されます。

このような中、私たち9都市は、これまで路面電車を活用したさまざまな取組みを進めてきましたが、本日、この札幌においてそれらの情報を共有したことで、路面電車等のLRT化が都市の賑いや魅力向上に寄与し、利便性の高い生活を支える都市の装置として、不可欠なものであることを、改めて強く認識しました。

令和という新しい時代を迎えた今、私たちは、路面電車等のLRT化を通して夢や希望に満ち、安心して暮らすことのできるまちを形成し、未来に引き継いでいくため、次のことを宣言します。

- 1 市民、地域、事業者、行政が協働し、まちのシンボルである路面電車等のLRT化に努めるとともに、公共交通の利用促進を図り、環境負荷の少ない持続可能な低炭素社会の実現を目指します。
- 2 高齢者や観光客など、すべての人が円滑で快適に移動できるよう、路面電車施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を進め、人にやさしい交通環境の改善を図ります。
- 3 LRT化にあわせて「居心地が良く、歩きたくなる」まちの実現を目指し、まちの賑わいを創出し、活力に満ちた元気なまちづくりを進めます。
- 4 LRT化を推進するため、軌道事業者の技術力向上、経営基盤の強化に対して必要な支援を行うとともに、国や関係機関に対しLRT化に対する補助制度の拡充や、税制上の優遇措置、規制の緩和などについて働きかけていきます。
- 5 各都市の、LRTを活用したまちづくりの取組や成果を全国の都市、国や関係機関と共有し、より一層の連携を図ります。

令和元年11月8日
LRT都市サミット札幌2019
参加都市一同